

アンケート設問(スクリーニング)(1 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
Q1-Q1	回答者の職業	あなたの職業を選んでください。	公務員	→ 終了
			会社役員	→ Q1.2へ
			会社員(正社員)	→ Q1.2へ
			会社員(契約社員/派遣社員)	→ 終了
			自営業/自由業	→ 終了
			高校生	→ 終了
			大学生/大学院生	→ 終了
			パート/アルバイト	→ 終了
			主婦	→ 終了
			無職	→ 終了
			その他	→ 終了
Q1-2	企業の業種	あなたの勤務先企業の業種(主な事業内容)として、以下のうち、もっとも近いものを1つを選んでください。	農林業・水産業・鉱業	→ Q1.3へ
			建設・土木・工業	→ Q1.3へ
			電子部品・デバイス・電子回路製造業	→ Q1.3へ
			情報通信機械器具製造業	→ Q1.3へ
			電気機械器具製造業(上記に含まれないもの)	→ Q1.3へ
			その他製造業	→ Q1.3へ
			電気・ガス・熱供給・水道業	→ Q1.3へ
			通信業	→ Q1.3へ
			情報サービス業	→ Q1.3へ
			その他の情報通信業	→ Q1.3へ
			運輸業・郵便業	→ Q1.3へ
			卸売業・小売業	→ Q1.3へ
			金融業・保険業	→ Q1.3へ
			不動産業・物品賃貸業	→ Q1.3へ
			学術研究・専門技術者	→ Q1.3へ
			宿泊業・飲食サービス業	→ Q1.3へ
			生活関連サービス業・娯楽業	→ Q1.3へ
			教育・学習支援業	→ Q1.3へ
			医療・福祉	→ Q1.3へ
			複合サービス業	→ Q1.3へ
その他サービス業	→ Q1.3へ			
Q1-3	クリティカル情報取扱い企業の抽出	あなたの勤務先企業が取り扱う情報の中で、当てはまるものを「すべて」選択してください。	契約上機密扱いが必要な情報	→ Q1.4へ
			個人・プライバシーに関する情報	→ Q1.4へ
			日本の国家安全保障に関する情報	→ Q1.4へ
			日本国内の重要インフラに関する情報	→ Q1.4へ
			海外の企業・政府・機関等に関する情報	→ Q1.4へ
			知的財産権に関する情報	→ Q1.4へ
Q1-4	企業の従業員数	あなたの現在の勤務先の従業員数を選んでください。	100名未満	→ 終了
			100名以上300名未満	→ Q1.7へ

アンケート設問(スクリーニング)(2 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
			300名以上1,000名未満	→ Q1.7へ
			1,000名以上	→ Q1.7へ
Q1-5	企業の資本金	あなたの現在の勤務先の資本金を選んでください。	5,000万円未満	→ Q1.8へ
			5,000万円以上1億円未満	→ Q1.8へ
			1億円以上3億円未満	→ Q1.8へ
			3億円以上	→ Q1.8へ
Q1-6	企業の設立年	あなたの現在の勤務先の設立時期を選んでください。	現在～2007年4月1日	→ Q1.7へ
			2007年3月31日～1997年4月1日	→ Q1.7へ
			1997年3月31日～1987年4月1日	→ Q1.7へ
			1987年3月31日～1977年4月1日	→ Q1.7へ
			1977年3月31日～それ以前	→ Q1.7へ
Q1-7	回答者の所属部門	あなたの現在の所属部門として、もっとも近いものを以下から選んでください。	企画・広報部門	→ Q1.8へ
			販売・営業部門	→ Q1.8へ
			製造・生産部門	→ Q1.8へ
			調達・購買部門	→ Q1.8へ
			生産管理・品質管理部門	→ Q1.8へ
			技術・研究開発部門	→ Q1.8へ
			総務・人事部門	→ Q1.8へ
			経理・財務部門	→ Q1.8へ
			情報システム部門	→ Q1.8へ
Q1-8	回答者の役職	あなたの現在の役職として、もっとも近いものを選んでください。	経営層・役員クラス	→ Q1.9へ
			部長クラス	→ Q1.9へ
			課長クラス	→ Q1.9へ
			係長・主任クラス	→ Q1.9へ
			一般社員クラス	→ Q1.9へ
			その他専門職・特別職等	→ Q1.9へ
Q1-9	情報セキュリティ人材の把握度	あなたは、自社の情報セキュリティの企画・開発・運用業務を把握する立場にあるかをお尋ねします。 <対象となる業務> ■ 自社情報セキュリティの保守・運用・管理 ■ 自社情報セキュリティの開発プロジェクト管理、自社システム開発・実装 ■ 自社情報セキュリティの企画、自社IT戦略立案	該当する業務の担当者を管理する立場にある	→ Q2.1へ
			該当する業務の担当者である	→ Q2.1へ
			該当する業務の担当者ではないが、状況を知る立場にある	→ Q2.1へ
			該当する業務の担当者ではなく、状況も知らない	→ 終了

アンケート設問(人材数:全企業回答)(3 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
Q2-1	ベンダとそれ以外の区別	あなたの勤務先の事業体として、最も近いものをお答えください。	セキュリティベンダ	→ Q2-3へ
			セキュリティコンサルティング会社	→ Q2-3へ
			セキュリティ監査・顧問会社	→ Q2-3へ
			ユーザ企業のシステム子会社	→ Q2-3へ
			セキュリティ以外の、情報通信機器・サービスベンダ	→ Q2-3へ
			上記以外	→ Q2-2へ
Q2-2	情報セキュリティ関連業務の有無	【設問 2.1で「上記以外」と答えた方にお尋ねします。】 あなたの勤務先には、社内向け以外の情報セキュリティに関連する業務を行なう部署はありますか。	ある	→ Q2-3へ
			ない	→ Q2-3へ
Q2-3	情報システム部門の有無	あなたの勤務先には、自社向けの情報システムやITに関する企画・開発・管理等の業務を担当する部署はありますか。 ※ 自社内での情報システム開発・運用業務のみを対象とし、顧客向けの業務は対象外とします。	ある	→ Q2-4へ
			ない	→ Q2-4へ
Q2-4	情報セキュリティ人材の有無	あなたが現在お勤めの企業には、自社向けの情報セキュリティを業務としている人はいますか。(複数回答可)	自社向けの情報セキュリティを専門業務としている人がいる	→ Q2-5へ
			自社向けの情報セキュリティを兼務している人がいる	→ Q2-5へ
			いない	→ Q2-9へ
Q2-5	情報セキュリティ人材数	【自社向けの情報セキュリティ専任者もしくは兼任者がいると回答した人にお尋ねします。】 情報セキュリティの役割を次に示す6つに分類したとき、各業務の担当者数をお答えください。 兼任者については、その人が最も従事している割合が多い業務の欄に、その人数を記入してください。 例えば、「開発・構築」と「運用・管理」を兼任している人が1人いる場合、その人が「開発・構築」に関する業務に「運用・管理」よりも多く従事しているとすれば、「開発・構築」の「情報セキュリティ業務との兼任者人数」に”1”とご記入ください。		→ Q2-6へ
			セキュリティ戦略・統括(自社向けの情報セキュリティに関する全体計画の策定)	担当者数合計(内訳:専任者人数/兼任者人数)
			企画・設計(自社向けの情報セキュリティに関するポリシーの策定)	担当者数合計(内訳:専任者人数/兼任者人数)
			開発・構築(個別セキュリティの基盤設計・構築・技術支援)	担当者数合計(内訳:専任者人数/兼任者人数)
			運用・管理(セキュリティに関する保守運用計画策定・実施)	担当者数合計(内訳:専任者人数/兼任者人数)
			監査・検査(セキュリティ監査)	担当者数合計(内訳:専任者人数/兼任者人数)

アンケート設問(人材数:全企業回答)(4 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
		セキュリティに関するコンサルティング・教育	担当者数合計(内訳:専任者人数/兼任者人数)	
Q2-6	情報セキュリティ業務の兼任状況	<p>【自社向けの情報セキュリティ専任者もしくは兼任者がいると回答した人にお尋ねします。】 次に示す6つの業務と、兼任していることが多い業務をいくつでも選んでください。</p> <p>例えば、前問で「開発・構築」の「情報セキュリティ業務との兼任者人数」に1と回答頂いた場合、その人が「企画・開発」と「運用・管理」の3役を兼務しているとしたらメイン業務「開発・構築」に対して、メインの業務に対する兼任業務の「企画・開発」と「運用・管理」に、それぞれ“1”をご記入ください。</p>		→ Q2-7へ
		セキュリティ戦略・統括(自社向けの情報セキュリティに関する全体計画の策定)	「セキュリティ戦略・統括」以外の5つの業務から選択。もしくは、この中のセキュリティ業務との兼任はしていないを選択	
		企画・設計(自社向けの情報セキュリティに関するポリシーの策定)	「企画・設計」以外の5つの業務から選択。上同様。	
		開発・構築(個別セキュリティの基盤設計・構築・技術支援)	「開発・構築」以外の5つの業務から選択。上同様。	
		運用・管理(セキュリティに関する保守運用計画策定・実施)	「運用・管理」以外の5つの業務から選択。上同様。	
		監査・検査(セキュリティ監査)	「監査・検査」以外の5つの業務から選択。上同様。	
		セキュリティに関するコンサルティング・教育	「コンサルティング・教育」以外の5つの業務から選択。上同様。	
Q2-7	情報セキュリティ業務の兼任比率	<p>【自社向けの情報セキュリティ兼任者がいると回答した人にお尋ねします。】 兼任者の担当業務のうち、セキュリティ関連業務とそれ以外の業務の比率についてお答え下さい。※典型的な場合についてお答え下さい。</p>	セキュリティ以外の業務が9割以上 セキュリティ以外の業務が7～9割 セキュリティ以外の業務が5～7割 セキュリティ以外の業務が3～5割 セキュリティ以外の業務が1～3割 セキュリティ以外の業務が1割以下	→ Q2-8へ → Q2-8へ → Q2-8へ → Q2-8へ → Q2-8へ → Q2-8へ
Q2-8	情報セキュリティ人数の動向	<p>【自社向けの情報セキュリティ専任者もしくは兼任者がいると回答した人にお尋ねします。】 過去3年間で、担当が増えた業務は何ですか。当てはまるものをすべてお答えください。</p>	6つの業務から選択	→ Q3-1へ

アンケート設問(人材数:全企業回答)(5 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
		【自社向けの情報セキュリティ専任者もしくは兼任者がいると回答した人にお尋ねします。】 過去3年間で、担当者が減った業務は何ですか。当てはまるものをすべてお答えください。	6つの業務から選択	→Q3-1へ
Q2-9	情報セキュリティ人材不在の理由	御社では、自社向けの情報システムや情報セキュリティに関する企画・開発・管理等の業務を誰が担当していますか。	業務のほとんどを、アウトソース先のITベンダーが担当している ITに詳しい個人が担当している その他()【FA必須】	→ Q2-10へ →Q 3-1へ → Q3-1へ
Q2-10	アウトソース先セキュリティベンダの満足度	【セキュリティ業務をアウトソースしていると回答した方にお尋ねします。】 アウトソース先のITベンダに対する満足度として、もっともあてはまるものをお答え下さい。	大変満足・やや満足・普通・やや不満・非常に不満	→ Q2-11へ
Q2-11		【セキュリティ業務をアウトソースしていると回答した方にお尋ねします。】 アウトソース先への要望や、期待することがあればお答え下さい。	()	→ Q3-1へ

アンケート設問(人材需要:全企業回答)(6 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
Q3-1	情報セキュリティ人材の不足感	自社向けの情報セキュリティを担当者する人材の不足感について、当てはまるものをお答えください。	人数もスキルも足りている	→ Q3-6へ
			人数は足りているが、スキルが足りない	→ Q3-2へ
			スキルは足りているが、人数が足りない	→ Q3-2へ
			人数もスキルも足りていない	→ Q3-2へ
Q3-2-1	情報セキュリティ人材の不足状況	【設問 3.1において、人数が足りていないと回答した方にお尋ねします。】 6つの業務ごとに、不足の程度についてもっとも当てはまるものをお答え下さい。	人材を増やさないと業務が回らないほど危機的な不足	→ Q3-2-1へ
			多少の無理をすれば、どうにか回すことができる程度の不足	
			必要最小限は足りているが、理想的な状態と比べると不足	
			この業務については不足していない	
			セキュリティ戦略・統括(自社情報セキュリティに関する全体計画の策定)	
			企画・設計(自社情報セキュリティに関するポリシーの策定)	
			開発・構築(個別セキュリティの基盤設計・構築・技術支援)	
運用・管理(セキュリティに関する保守運用計画策定・実施)				
Q3-2-2	情報セキュリティ人材の不足理由	【設問 3.1において、スキルが足りていないと回答した方にお尋ねします。】 次のように、6つの業務ごとに示された知識とコンピテンシーについて、最も当てはまるものを1つずつ選択してください。(知識とコンピテンシーの構成は別資料参照)	業務が回らないほど危機的な不足	→ Q3-3-1へ
			多少の無理をすれば、どうにか回すことができる程度の不足	
			必要最小限は足りているが、理想的な状態と比べると不足	
			この業務については不足していない	
			セキュリティ戦略・統括(自社情報セキュリティに関する全体計画の策定)	
			企画・設計(自社情報セキュリティに関するポリシーの策定)	
			開発・構築(個別セキュリティの基盤設計・構築・技術支援)	
運用・管理(セキュリティに関する保守運用計画策定・実施)				
Q3-3-1	情報セキュリティ人材の不足理由	【設問 3.1において、人数が足りていないと回答した方にお尋ねします。】 不足の原因について、もっとも当てはまるものをお答えください。	採用をしたいが、情報セキュリティ業務への応募者が少ない	→ Q3-3-2へ
			本業が忙しく、情報セキュリティにまで人材が割けない	→ Q3-3-2へ
			社内に情報セキュリティ業務の適任者が少ない	→ Q3-3-2へ
			経営層の理解や認識が足りない	→ Q3-3-2へ
			分からない	→ Q3-3-2へ
			その他()	→ Q3-3-2へ
			社内情報セキュリティ教育が足りない	→ Q3-4へ
Q3-3-2	情報セキュリティ人材の不足理由	【設問 3.1において、スキルが足りていないと回答した方にお尋ねします。】 不足の原因について当てはまるものをお答えください。	求めるレベルの人材が獲得できない	→ Q3-4へ
			分からない	→ Q3-4へ
			分からない	→ Q3-4へ

アンケート設問(人材需要:全企業回答)(7 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
			その他()	→ Q3-4へ

アンケート設問(人材需要:全企業回答)(8 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
Q3-4	情報セキュリティ人材が不足し始めた時期	【設問 3.1において、人数およびスキルが不足していると回答した方にお尋ねします。】 不足を感じ始めたのはいつ頃ですか。	直近1年	→ Q3-5へ
			3年ほど前から	→ Q3-5へ
			5年ほど前から	→ Q3-5へ
			5年以上前から	→ Q3-5へ
Q3-5	情報セキュリティ人材の不足解消の取り組み	【設問 3.1において、人数およびスキルが不足していると回答した方にお尋ねします。】 不足を解消するために取組んだことがあるものをお答えください。	社内で情報セキュリティに関する教育を強化した	→ Q3-6へ
			社外の教育プログラムを利用した	→ Q3-6へ
			社内の別の部署から人材を調達した	→ Q3-6へ
			社外から新たに人材を調達した	→ Q3-6へ
			業務を外部に委託した	→ Q3-6へ
			特に取組みはしていない	→ Q3-6へ
その他()	→ Q3-6へ			
Q3-6	情報セキュリティ人材の不足解消の積極性	【設問 3.1において、人数およびスキルが不足していると回答した方にお尋ねします。】 セキュリティ人材不足を解消するため取組みについて、もっとも当てはまるものをお答え下さい。	経営戦略として、最優先に取組みたい	→ Q3-7へ
			最優先ではないが、積極的に取組みたい	→ Q3-7へ
			優先ではないが、取組む意思はある	→ Q3-7へ
			当面は現状を維持する	→ Q3-7へ
			今後、特に取組む意思はない	→ Q3-7へ
Q3-7	情報セキュリティ人材の採用	御社における、自社向けの情報システムもしくは、情報セキュリティを担当する人の採用について当てはまるものをお答えください。	新卒採用に、専用の採用枠がある	→ Q3-8へ
			新卒採用にはないが、中途採用には専用の採用枠がある	→ Q3-8へ
			他の業務と区別なく採用している	→ Q3-8へ
			特に採用はしていない	→ Q3-10へ
			その他()	→ Q3-8へ
Q3-8	情報セキュリティ人材採用状況	【設問 3.6において、人材を採用していると回答した方にお尋ねします。】 自社向けの情報セキュリティを担当する人材について、満足する人材を採用することができますか。	はい	→ Q3-10へ
			いいえ	→ Q3-9へ
Q3-9	情報セキュリティ人材採用の不满理由	【設問 3.7において、採用に不満だと回答した方にお尋ねします。】 不満だと感じる理由について当てはまるものをお答えください。	情報セキュリティを学んだ学生を採用しても、満足するスキルを有していない	→ Q3-10へ
			求めるレベルの人材が応募してこない	→ Q3-10へ
			その他()	→ Q3-10へ
Q3-10	情報セキュリティ人材のスキル評価	御社では、自社向けの情報セキュリティ業務を担当する人材のスキル評価についてどのように取組んでいますか。	ITスキル標準に基づいた評価を行っている	→ Q3-11へ
			社内で独自のスキル体系に基づき評価を行っている	→ Q3-11へ
			他の業務と区別はない	→ Q3-11へ
			分からない	→ Q3-11へ
			その他()	→ Q3-11へ
Q3-11	情報セキュリティ人材の育成	御社には、情報セキュリティ業務を担当する人材の育成についてどのように取組んでいますか。	社内に情報システム担当者のための教育制度がある	→ Q3-12へ
			社内に情報セキュリティ業務担当者のための、教育制度がある	→ Q3-12へ
			OJTのみで教育を行なっている	→ Q3-12へ
			特に取組んでいることはない	→ Q3-12へ

アンケート設問(人材需要:全企業回答)(9 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
			その他()	→ Q3-12へ
Q3-12	情報セキュリティ人材確保の今後の意向	御社は、今後、情報セキュリティ人材の確保にどのように取り組みたいとお考えですか。	現在よりも強化したい	→ Q3-13へ
			現状の水準を維持したい	→ Q3-15へ
			現在よりも取組みを減らしたい	→ Q3-14へ
			分からない	→ Q3-15へ
Q3-13	情報セキュリティ人材の確保に積極的な理由	【設問 3.11において、「現在よりも強化したい」と答えた方にお尋ねします。】 どのような取組みを強化しようと考えていますか。	情報セキュリティ人材の採用活動	→ Q3-15へ
			情報セキュリティ担当者の育成	→ Q3-15へ
			その他()	→ Q3-15へ
Q3-14	情報セキュリティ人材の確保に消極的な理由	【設問 3.11において、「現在よりも取組みを減らしたい」と答えた方にお尋ねします。】 そのように考える理由をお答えください。	情報セキュリティ対策の必要性を感じなくなったため	→ Q3-15へ
			情報セキュリティ対策を外部に委託することにしたため	→ Q3-15へ
			情報セキュリティ対策が効果の割に割高に思えるため	→ Q3-15へ
			その他()	→ Q3-15へ
Q3-15	情報セキュリティ推進の障害有無	自社向けの情報セキュリティを推進する際に、障害となっていることはありますか。	ある	→ Q3-16へ
			ない	→ Q3-17へ
Q3-16	情報セキュリティ推進の障害	【セキュリティ推進に障害があると回答した方にお尋ねします。】 障害について、具体的な内容をお答え下さい。	()【FA必須】	→ Q3-17へ
Q3-17	経営層のセキュリティ理解度	【役職で、経営層・役員クラスと回答した方にお尋ねします。】 自社の情報セキュリティに関する理解度として、もっとも当てはまるものをお答えください。	よく理解している・概ね理解している・やや理解が不足している・全く理解していない	→ Q3-18へ
Q3-18		【役職で、経営層・役員クラスと回答した方にお尋ねします。】 現在の役職に就いてから、社内もしくは社外でセキュリティに関する講習や説明を受ける機会がありましたか。またそれを受講しましたか。	機会があり、知識を習得した	→ Q3-19へ
			機会があったが、知識を習得しなかった	→ Q3-19へ
			機会はなかった	→ Q3-19へ
			わからない	→ Q3-19へ
Q3-19		【役職で、経営層・役員クラス以外と回答した方にお尋ねします。】 自社向けセキュリティに対する経営層の認識・理解度について、どのように感じますか。もっとも当てはまるものを全てお答え下さい。	大変よく理解していると感じる・概ね理解していると感じる・やや理解不足だと感じる・全く理解していないと感じる・わからない	→ Q3-19+Q3-20へ
Q3-20		【役職で、経営層・役員クラス以外と回答した方にお尋ねします。】 上記のように感じる理由をお答え下さい	()	→ Q3-21へ
Q3-21	資格取得に関する取組み	情報セキュリティに関する資格取得に関して、御社の取組みにあてはまるものを全て選択してください。	資格取得が採用条件になっている	→ Q3-22へ
			有資格者は採用時に有利になる	→ Q3-22へ
			資格取得に対する報奨金制度や補助金制度が	→ Q3-22へ
			資格取得者に対する手当がある	→ Q3-22へ
			資格取得が昇進の条件になっている	→ Q3-22へ
			社内に資格取得のための教育プログラムがある	→ Q3-22へ
			その他()	→ Q3-22へ

アンケート設問(人材需要:全企業回答)(10 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
Q3-22		御社が取得を奨励している資格があれば全て選択してください。	情報セキュリティスペシャリスト(独立行政法人情報処理推進機構) システム監査技術者(独立行政法人情報処理推進機構) CISSP認定資格((ISC)2ジャパン) 公認情報セキュリティ監査人(CAIS) 公認情報セキュリティマネージャー(ISACA) 情報セキュリティ専門監査人(システム監査学) Comp TIA Security+(Comp TIA) ネットワーク情報セキュリティマネージャー資格制度(NISM) CCSP(シスコシステムズ) CIWW web Security Associate 試験(CIW) 応用情報処理技術者(独立行政法人情報処理推進機構) 基本情報処理技術者(独立行政法人情報処理推進機構) その他()	→ 終了 → ICTユーザ①以外はQ4-1へ

アンケート設問(人材数:ITベンダ・セキュリティベンダのみ回答)(11 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導	
Q4-1	事業内容	御社の情報セキュリティ関連事業として、当てはまるものを全てお答えください。	セキュリティ対策製品の販売	→ Q4-2へ	
			セキュリティ対策サービスの提供	→ Q4-2へ	
			セキュリティの運用	→ Q4-2へ	
			セキュリティのコンサルティング	→ Q4-2へ	
			セキュリティの教育	→ Q4-2へ	
			自社製品へのセキュリティ技術の実装	→ Q4-2へ	
			自社サービスへのセキュリティ対策の提供	→ Q4-2へ	
			その他()	→ Q4-2へ	
Q4-2	情報セキュリティ人材数	<p>情報セキュリティの職務を次に示す6つに分類したとき、各職務の担当者数を専任・兼任別にお答え下さい。 ()は職種の例です。 兼任者については、その人が最も従事している割合が多い業務の欄に、その人数を記入してください。</p> <p>例えば、「開発・構築」と「運用・管理」を兼任している人が1人いる場合、その人が「開発・構築」に関する業務に「運用・管理」よりも多く従事しているとすれば、「開発・構築」の「情報セキュリティ業務との兼任者人数」に”1”とご記入ください。</p>		→ Q4-3へ	
			セキュリティ戦略・統括 (CSO/CISO/CIAO) (CSO/CISO/CIAO補佐) (プライバシーオフィサー) (インシデントハンドラー)	担当者数合計 (内訳:専任者人数/兼任者人数)	
			企画・設計 (セキュリティプロダクトオーナー) (セキュリティサービスオーナー)	担当者数合計 (内訳:専任者人数/兼任者人数)	
			開発・構築 (プリセールスエンジニア) (セキュリティエンジニア) (フィールドエンジニア) (プログラマー)	担当者数合計 (内訳:専任者人数/兼任者人数)	
			運用・管理 (セキュリティシステムアドミニストレーター) (オペレーター) (プライバシースペシャリスト)	担当者数合計 (内訳:専任者人数/兼任者人数)	

アンケート設問(人材数:ITベンダ・セキュリティベンダのみ回答)(12 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
		監査・検査 (QA:Quality Assurance マネージャー) (QAエンジニア) (セキュリティテスター)	担当者数合計 (内訳:専任者人数/兼任者人数)	
		コンサルティング・教育 (セキュリティコンサルタント) (インシデントハンドラー) (セールスコンサルタント) (テクニカルコンサルタント)	担当者数合計 (内訳:専任者人数/兼任者人数)	
Q4-3	情報セキュリティ業務の兼任状況	前問でお答えいただいた各業務の兼任者について、兼任している業務別に人員数をご記入下さい。 例えば、前問で「開発・構築」の「情報セキュリティ業務との兼任者人数」に1と回答頂いた場合、その人が「企画・開発」と「運用・管理」の3役を兼務しているとしたらメイン業務「開発・構築」に対して、メインの業務に対する兼任業務の「企画・開発」と「運用・管理」に、それぞれ“1”をご記入ください。		→ Q4-4へ
		セキュリティ戦略・統括	「セキュリティ戦略・統括」以外の5つの業務から選択。もしくは、この中のセキュリティ業務との兼任はしていないを選択	
		企画・設計	「企画・設計」以外の5つの業務から選択。上同様。	
		開発・構築	「開発・構築」以外の5つの業務から選択。上同様。	
		運用・管理	「運用・管理」以外の5つの業務から選択。上同様。	
		監査・検査	「監査・検査」以外の5つの業務から選択。上同様。	
		コンサルティング・教育	「コンサルティング・教育」以外の5つの業務から選択。上同様。	
Q4-4	情報セキュリティ業務の兼任比率	【兼任者がいると回答した人にお尋ねします。】 兼任者の担当業務のうち、セキュリティ関連業務とそれ以外の業務の比率についてお答え下さい。※典型的な場合についてお答え下さい。	セキュリティ以外の業務が9割以上 セキュリティ以外の業務が7～9割 セキュリティ以外の業務が5～7割 セキュリティ以外の業務が3～5割 セキュリティ以外の業務が1～3割 セキュリティ以外の業務が1割以下	→ Q4-5へ → Q4-5へ → Q4-5へ → Q4-5へ → Q4-5へ → Q4-5へ
Q4-5	情報セキュリティ人数の動向	【顧客向けの情報セキュリティ事業がある企業の方にお尋ねします。】 過去3年間で、担当者が増えた職種は何ですか。当てはまるものをすべてお答えください。	6つの業務から選択	→Q5-1へ

アンケート設問(人材数:ITベンダ・セキュリティベンダのみ回答)(13 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
		【顧客向けの情報セキュリティ事業がある企業の方にお尋ねします。】 過去3年間で、担当者が減った職種は何ですか。当てはまるものをすべてお答えください。	6つの業務から選択	→Q5-1へ

アンケート設問(人材需要:ITベンダ・セキュリティベンダのみ回答)(14 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
Q5-1	情報セキュリティ人材の不足感	顧客向けの情報セキュリティを担当者する人材の不足感について、当てはまるものをお答えください。	人数もスキルも足りている 人数は足りているが、スキルが足りていない スキルは足りているが、人数が足りていない 人数もスキルも足りていない	→ Q5-6へ → Q5-2へ → Q5-2へ → Q5-2へ
Q5-2-1	情報セキュリティ人材の不足状況	【設問 5.1において、人数が足りていないと回答した方にお尋ねします。】 6つの業務ごとに、不足の程度についてもっとも当てはまるものをお答え下さい。	人材を増やさないと業務が回らないほど危機的な不足 多少の無理をすれば、どうにか回すことができる程度の不足 必要最小限は足りているが、理想的な状態と比べると不足	→ Q5-2-1へ
		セキュリティ戦略・統括		
		企画・設計		
		開発・構築		
		運用・管理		
		監査・検査		
		コンサルティング・教育		
Q5-2-2		【設問 5.1において、スキルが足りていないと回答した方にお尋ねします。】 次のように、6つの業務ごとに示された知識とコンピテンシーについて、最も当てはまるものを1つずつ選択してください。(知識とコンピテンシーの構成は別資料参照)	業務が回らないほど危機的な不足 多少の無理をすれば、どうにか回すことができる程度の不足 必要最小限は足りているが、理想的な状態と比べると不足 この業務については不足していない	→ Q5-3へ
		セキュリティ戦略・統括		
		企画・設計		
		開発・構築		
		運用・管理		
		監査・検査		
		コンサルティング・教育		
Q5-3-1	情報セキュリティ人材の不足理由	【設問 5.1において、人数が足りていないと回答した方にお尋ねします。】 不足の原因について、もっとも当てはまるものをお答えください。	事業が好調のため 情報セキュリティを希望する人が少ない 分からない その他()	→ Q5-3-2へ → Q5-3-2へ → Q5-3-2へ → Q5-3-2へ
Q5-3-2		【設問 5.1において、スキルが足りていないと回答した方にお尋ねします。】 不足の原因について当てはまるものをお答えください。	社内の情報セキュリティ教育が足りない 求めるレベルの人材が獲得できない 分からない その他()	→ Q5-4へ → Q5-4へ → Q5-4へ → Q5-4へ
Q5-4	情報セキュリティ人材が不足し始めた時期	【設問 5.1において、人数およびスキルが不足していると回答した方にお尋ねします。】 不足を感じ始めたのはいつ頃ですか。	直近1年 3年ほど前から 5年ほど前から	→ Q5-5へ → Q5-5へ → Q5-5へ

アンケート設問(人材需要:ITベンダ・セキュリティベンダのみ回答)(15 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
Q5-5	情報セキュリティ人材の不足解消の取り組み	【設問 5.1において、人数およびスキルが不足していると回答した方にお尋ねします。】 不足を解消するための取組みについて、取組んだことがあるものを6つの業務ごとにお答えください。	5年以上前から	→ Q5-5へ
			社内向けの情報セキュリティに関する教育を強化した	→ Q5-6へ
			社外から新たに人材を調達した	→ Q5-6へ
			外部の教育プログラムを利用した	→ Q5-6へ
			業務を外部に委託した	→ Q5-6へ
			特に取組みはしていない	→ Q5-6へ
			その他()	→ Q5-6へ
セキュリティ戦略・統括 企画・設計 開発・構築 運用・管理 監査・検査 コンサルティング・教育	※6つの業務ごとに、上記選択肢より該当するものを選択。			
Q5-6	情報セキュリティ人材の不足解消の、今後の取り組み	【設問 5.1において、人数およびスキルが不足していると回答した方にお尋ねします。】 不足を解消するための取組みについて、今後取組む意向があるものを6つの業務ごとにお答えください。	コンサルティング・教育	→ Q5-7へ
			社内向けの情報セキュリティに関する教育を強化する	
			社外から新たに人材を調達する	→ Q5-7へ
			外部の教育プログラムを利用する	→ Q5-7へ
			業務を外部に委託する	→ Q5-7へ
			特に取組まない	→ Q5-7へ
			その他()	→ Q5-7へ
セキュリティ戦略・統括 企画・設計 開発・構築 運用・管理 監査・検査 コンサルティング・教育	※6つの業務ごとに、上記選択肢より該当するものを選択。			
Q5-7	情報セキュリティ人材採用	御社における、情報セキュリティ事業担当者の採用について当てはまるものをお答えください。	新卒採用のみ	→ Q5-8へ
			新卒採用と中途採用	→ Q5-8へ
			中途採用のみ	→ Q5-8へ
			特に採用はしていない	→ Q5-10へ
			その他()	→ Q5-8へ
Q5-8	情報セキュリティ人材採用状況	【設問 5.6において、人材を採用していると回答した方にお尋ねします。】 自社向けの情報セキュリティを担当する人材について、満足する人材を採用することができていますか。	はい	→ Q5-10へ
			いいえ	→ Q5-9へ
Q5-9	情報セキュリティ人材採用の不满理由	【設問 5.7において、採用に不満だと回答した方にお尋ねします。】 不満だと感じる理由について当てはまるものをお答えください。	情報セキュリティを学んだ学生を採用しても、満足するスキルを有していない	→ Q5-10へ
			求めるレベルの人材が応募してこない	→ Q5-10へ
			その他()	→ Q5-10へ

アンケート設問(人材需要:ITベンダ・セキュリティベンダのみ回答)(16 / 16)

項番	項目	設問	選択肢	次設問への誘導
Q5-10	情報学科卒業生に求めるスキル	御社は、情報系学科卒業生に対して、どのようなスキルの習得を期待しますか。	実践的なスキルを身につけて欲しい	→ Q5-11へ
			情報に限らず幅広い知識を習得して欲しい	→ Q5-11へ
			分からない	→ Q5-11へ
			その他()	→ Q5-11へ
Q5-11	情報セキュリティ人材のスキル評価	御社では、自社向けの情報セキュリティ業務を担当する人材のスキル評価についてどのように取組んでいますか。	ITスキル標準に基づいた評価を行っている	→ Q5-12へ
			社内で独自のスキル体系に基づき評価を行っている	→ Q5-12へ
			他の業務と区別はない	→ Q5-12へ
			分からない	→ Q5-12へ
			その他()	→ Q5-12へ
Q5-12	情報セキュリティ人材の育成	御社には、情報セキュリティ業務を担当する人材の育成についてどのように取組んでいますか	社内に情報システム業務担当者のための教育制度がある	→ 終了
			情報セキュリティ業務担当者のための、教育制度がある	→ 終了
			OJTのみで教育を行っている	→ 終了
			特に取組んでいることはない	→ 終了
			その他()	→ 終了